

【学校関係者評価（各委員の主たる発言内容）】

- ・新しく来た教員は、学校がどう地域に接しているか5月時点では見えなかった物が見えてきて意識が変わり、数値が向上したのではないかと私自身実感している。（教頭）→教員の数値はものすごく上がりましたね。→吹奏楽部の定期演奏会など保護者と一緒に作り上げているのが分かったことによると思う。（教頭）→昔森戸川流域で行っていた葉山の文化祭のような下地が、この地域に潜在的にあることも大きいと思う。
- ・南郷中文化祭や可能性が地域にもあり、我々が住んでいる地域の文化を取り入れるのが教員の力。
- ・この地域の方々には学校に非常に協力的。長柄小でも一人一役で協力をしていただいている。→田んぼ経験がある葉山の豊かさは特別。地域の協力があることが素晴らしい。→田んぼの管理は大変。続けて下さっている方がいることが素晴らしい。
- ・御霊神社の場所は子どもたちにとって大変貴重。遊び場がない長柄の子にとって大切な場。狭いのが残念で、お祭りでも心配だが、貴重な場所になっている。
- ・データからも判断して、現在まで行ってきた経営努力を引き続き継続していくことで、良いと考える。

重点目標4（柱4） 「いじめ防止に向けた対策」

【学校が示した中間報告改善案】

生徒からの回答は、2項目について改善が見られる。実際、昨年自由記述において、相談のしやすさやいじめに関する声を上げた生徒が7名、授業の進め方について声を上げた生徒が18名いたことは見逃せなかった、今年はそれぞれ1名、3名に減少した。ポイント上昇項目からも分かるように、次第に解消されていることが窺える。

一方、教職員の意識については、早期発見早期対応において0.1ポイントの降下が見られ、保護者アンケートでも、0.22、0.44ポイントと降下している。また今回、Eを選んだ保護者が、問24 H30 3→R1 9 問25 H30 1→R1 7と急増している点は見逃せない。この理由を正しく把握する必要がある。



【学校関係者評価（各委員の主たる発言内容）】

- ・アンケートは無記名での回答ですか？→無記名だったら正直な結果に受け取れる。この数字がMAXという分析もできそうだ。
- ・いじめの訴えがあったとき、学校では必ず学年集会を開くのですか？→ケースバイケースです。緊急性やみんなに訴えて解決した方が良いと判断したときは、学年集会で解決を目指しますし、個々に対応した方が良い場合は個別に対応していきます。（教頭）
- ・子どもに相談しに来たことを言わないで（知らせないで）というケースは大変難しいです。それでも願いは解決してほしいというものですから、かなりの困難を伴います。事実確認が必要なだけに苦慮します。学校に全部任せていただいた方が、実は幸に処しやすいです。（教頭）
- ・保護者の立場でも、絶対に言わないでねと、子どもにいじめを明かされたとき、学校に相談できないで苦しんだり悩んだりします。子どもの信頼を裏切るわけにはいかないので辛いです。→学校に相談できない保護者の方にとって、このアンケートはやる意味がありますね。伝えられないことを、Eを選ぶことで暗に伝えられるわけですから。（校長）→Eは基本的につけづらい。だからこそ無記名でのEメッセージは意味がある。
- ・去年は、F（いじめはない）が多いことが一番良いと捉えてしまうけれど、Eに人数がいる場合は、いじめはないと回答するFが多いことはむしろ周りが見えていないと捉えるべきとの判断を下した。学校カーストがある場合は、Fは最も恐い要素がある。今回保護者自由記述で初めて学校カーストに触れた意見があったので、南郷に実態があるのか注視している。（校長）
- ・兄弟の存在が、小学校で起こり始めるイジメ感覚の芽を摘み取る良いきっかけになっている例があると聞いている。→いじめ体質になることの怖さを伝えてくれる先生もいらっしゃって良いなと感じている。

◆◆ 11月12日(火)には、PTA運営委員会が大勢の参加の中、開かれました。 ◆◆

- ・選出委員さんからは、「あと代表グループの方が1名決まれば、全て決定」との報告がありました。バランスからいうと、長柄小以外から出るとより良いかなとのことでした。「え～ちょっと大変そう」と断られてしまうことが多いのだそうですが、実際に役員になった方は、「得た情報、人との広がり、大変貴重」「やってみたら楽しいことに沢山接する」と口々に言われます。私も経験してみたいと思っています。
- ・運営委員の方々には、生徒や保護者の意見や感想を紹介しました。保護者からの意見にあった、『中学生たちの間では、「陽キャ」とか「陰キャ」「学校カースト」「上の人」「下の人」など我々が中学生の頃には聞いたことのない言葉が聞かれるが、どんな個性の子も、その子らしさが尊重され、のびのびと生活できるような「人権意識」を育てる教育を大切にしてほしいです。』といった感想について、学校側から、これが南郷中に実在する感じだと、大変危惧することだと指摘したところ、、「表立ってではないけれど、子どもの発言から、南郷中にもなんとなくあるかもと、耳にしたことがある」といった発言がありました。学校カーストがある学校ではいい思い出を作れない多数の生徒が出ます。学校としても注意深くアンテナを張っていきたいと思います。
- ・また、各学校毎のPTAに課せられた「1コイン防災備蓄食料案」について協議した結果、南郷中学校としては、1コイン備蓄について、「1家庭1コイン」ではなく、「児童・生徒一人につき1コイン」を採択し、葉山町PTA連絡協議会に臨むことが決定しました。詳しくは、後に出される運営委員会だよりをお読み下さい。

